



新年会・公開講演会のお知らせ!!

ニュース No.22

2016年11月15日発行

北里大学同窓会栃木県支部



栃木県支部ホームページQRコードです。
スマートフォンでのアクセスに利用下さい。

新年会のお知らせ

栃木県がんセンター

磯 恵美子、高橋 良、中野 真希

拝啓

心せわしい年の暮れ、同窓生のみなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

このたび、同窓生の親睦をはかるとともに、2017年のさらなる飛躍の糧としていただきたく下記の通り新年会を催したいと思ひます。

大学を卒業して、同じ栃木に就職した同級生ともなかなか会えずにいませんか？是非、友達と会うきっかけにこの新年会がなることを願っています。さっそく友達に LINE を送り、一緒に新年会に参加しましょう！みなさまとの特別な一夜を楽しみに会場でお待ちしております。

何かと気忙しい毎日かと思いますが、どうぞお体にお気をつけてお過ごしください。

記

日時：2017年2月12日(日) 18:00～

場所：ビストロ・キャトルズ

(ホテルサンルート宇都宮1階)



参加費：20歳代2,000円、30歳代3,000円、
40～69歳5,000円、70歳以上3,000円

当日、大学マーク入りのマグカップやボールペンなどのグッズ、特製クッキー、北里草熟牛肉入りカレーなどの商品、更に限定版の大村先生ノーベル賞受賞記念切手シートなどのレアものの当たるビンゴゲームを行います。ご期待ください。

参加の申し込みは、本ニュースに同封してあります返信用はがきでお知らせください。なお、卒業生間の情報交換のため、可能な範囲で返信はがきの近況欄をご記入下さい。次号の栃木県支部ニュース (No.23) に掲載します。

敬具

2017年 栃木県支部 公開講演会のお知らせ

栃木県支部 支部長 滝 龍雄

日時	平成29年7月2日(日) 14:00～16:00 (開場13:30)
会場	栃木県総合文化センター 特別会議室
講師	馬 淵 清 資 (まぶち きよし) 北里大学名誉教授
演題	バナナの皮から広がる生命科学の香り



申し込み等については、次号の支部ニュースでお知らせします。ご期待ください。

Relay for Life JAPAN 2016 in Tochigi Report

齋藤けさよ

9月24日正午～9月25日正午、壬生町総合公園で行われた「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 とちぎ」に同窓会チームとして参加しました。今年は約50チームが参加しており、初回から5回目、城址公園から会場を移して2回目の開催となり、このイベントも定着してきていると感じられる一方で、夜間はテントを閉たり、リレーを中止しているチームも多く、参加者の確保が大変と思われました。

当チームでも、参加者が集まるか不安でしたが、同窓生やその家族、友人等総勢25人がリレーや、応援に関わっていただきました(参加された方(順不同):、滝支部長、滝支部長の奥様、倉松先生、兼丸紅緑会支部長、岸さん、福田先生、福田副支部長、石川さん、奈良部先生、芝田さんご夫婦、磯さん、長谷川さん、和貝さん、竹澤さん、関口さん、高橋さん、中野さん、南さんご一家、阿部さん、鈴木さん)。ありがとうございました&お疲れ様でした。

毎回、隣のテントで面倒を見てくださるメイクアウイッシュさん、参加チームのお世話をしてくださる実行委員・ボランティアの皆様にも大変お世話になりました。

そろそろ継続参加を検討する時期ですが、今年から横断幕が手形付きのデザインに一新されており好評でしたので、来年もまた参加できるよう、皆様、御協力お願いいたします。ではでは。

福島競馬観戦ツアー報告

兼丸卓美・齋藤けさよ

今年も残すところ1カ月を切り、スポーツ界も終盤を迎え、プロ野球は既に日本ハムファイターズが日本一に輝きました。わが郷土の広島カープは、カープ女子応援の基25年振りにセリーグのリーグ優勝は果たしましたが、残念ながら日本一は来年(?)に持ち越しとなりました。サッカーJ1リーグは第一・第二ステージ優勝者、年間上位による優勝を決めるチャンピオンシップを残すのみです。一方、競馬界も秋のG1レースが11月13日(日)の京都競馬のエリザベス女王杯を皮切りに12月25日(日)中山競馬場の有馬記念グランプリまで毎週組まれ佳境を迎えております。

このような状況の中、第3回目となる福島競馬観戦ツアーを11月12日(土)開催し、無事終了致しましたので、その概要をお知らせ致します。

今回は、同窓会及び紅緑会会員14名とその会員の

ご家族、ご友人を含め総勢30名の参加となりました。

昨年よりも約1週間遅れとなり、寒波到来を心配しておりましたが当日は雲ひとつ見られない快晴・無風の行楽日和となりました。定刻の午前8時30分に宇都宮を出発、途中西那須野で県北地区の皆さんと合流し、一路高速道を福島競馬場へと向いました。車窓からは一部の紅葉は鮮やかな色彩でまるで一行を歓迎してくれているようでした。車中では初心者参加もあり馬券について若干の解説をした後に、今回は初参加者も多く会員相互の親睦を深めるために自己紹介をお願い致しました。初めての方はビギナーズラックを、リピーターの方は一攫千金(?)と思い思いの抱負を語りながら、11時30分に無事福島競馬場に到着いたしました。



早速来賓室で、午後のレース検討に向う人、昼食弁当希望者への弁当の手配・調達にと息つく暇もなく、それでも午後のレースがスタートする頃には皆さん目当ての馬券片手にレース観戦が始まりました。レース後は、当り馬券を払い戻しへ向かう人、次レースの予想誌に目を通す人、ヘビーファンの方は同時開催されている京都、東京競馬の馬券検討・購入に向う人、それぞれ楽しんでいました。レースが進むにつれ、ゴール前に足を運び最後の直線でのデットヒートの感触を確かめる方も目立っていました。メインレースでは、来賓席前からのスタートのため、出走馬のゲートインを眼下に見下ろしていると、ゲート内で馬が立ち上がり転倒し負傷により競走除外、さらにこのレースでは第3コーナーで騎手が落馬、競走中止という2重のアクシデントが発生し、購入馬券も競走除外馬の払い戻しなど普段あまり経験のない出来事がありました。当日はややレース(馬券の払い戻し)が荒れ気味で、単勝、複勝狙いの方はそれなりの成績が得られたものの、連からみの複数の馬を対象とする馬券購入者は苦労されていたものと思われました。最終レース観戦後の4時30分に競馬場を後に、西那須野経由で7時30分無事に宇都宮に到着、家路へと向いました。

今回も来賓室からの競馬観戦の為に参加者の皆さんには、ドレスコードのお願いや飲食物の持ち込みご遠慮等のご制約での参加となり、ご理解とご協力での実施となりました。

このような企画が、北里大学同窓会栃木県支部並びに紅緑会の活性化の一助となり、太いネットワーク構築に繋がればと願っています。

2016 福島競馬場観戦ツアーに参加して

紅緑会員 鈴木 守

前日の寒さと打って変わった小春日和の中、「福島競馬観戦ツアー」に妻と共に初参加しました。

暖かなバスの中、腰を落ち着け流れる景色でも観賞しようかと辺りを見渡せば、競馬新聞を広げる方々が…聞けば参加は今年で3度目との事。競馬は既に始まっていたのかと愕然としました。アイテム持参の賢者達の考察を聞いている内に競馬場に到着し、場内6階の来賓室に案内されました。憧れの来賓室に足を踏み入れられるとは…期待に胸が膨らむばかりです。

騒然とした他の階と違い「JRAの来賓室」は、静寂に包まれていました。各室毎に下階のスタンドに行かずとも購入できる馬券を手に、レースを観戦できるとは…気分は馬主かお貴族様です。「来賓室章」がなければエレベーターに乗れず出入りは出来ないとくれば、陶然たる心地にこれだけでも来た甲斐があるというものです。

入室後、各競馬新聞や勘を頼りに、購入した馬券と熱狂をお供にレースを観戦しました。各レースに一喜一憂し、掌の馬券が縫れる頃には帰宅時間となりました。勝ち負けは各々の胸に秘め、次回に期して帰宅の途に。楽しい一日で大満足でした。

最後に今回のツアーに尽力された兼丸卓美先生、窓口の齋藤けさよ先生には感謝しつつ来年の開催を切望して感想とします。

2016 福島競馬場観戦ツアーに参加して

田村 明美

今年は、待ちに待った福島競馬観戦ツアーに参加することが出来ました。

友人と、子供の入学金を稼いでこよう！と参加させていただきましたが、全く競馬の知識がない私たちでした。福島に向かうバスの中での兼丸先生のカンタン！馬券購入ガイドの講義で初めて馬券の種類がたくさんあることを知り、びっくりしました。競馬場では、来賓室から上から目線で競馬を観戦し、ゴール付近で地響きのような馬の足音を聴き観戦し、競馬新聞をじっくり研究して馬券購入をしました。……

現実には、どの馬も素晴らしく、名前が決たり、馬の色や馬のたて髪で 100 円ずつレースに掛けました。かわいいものです。当りも、ハズレも何百円。入学金を稼ごう！は、何処へ。

楽しくて、時間が過ぎるのを忘れた一日でした。来年は、兼丸先生の著書“サラブレットの「秘密」”を熟読して競馬新聞の読み方を勉強し、レースに臨みたいと思っています。

最後になりましたが申し込みの時から最後まで面

倒をおかけした齋藤けさよさんに感謝しております。来年もよろしくお願いたします。

2016 福島競馬場観戦ツアーに参加して

紅緑会栃木県支部会員 獣医学科8期卒業生
奈良部好司

兼丸卓美紅緑会栃木県支部会長のご厚意により、福島競馬場最上階の「来賓室」にツアー全員を入室させて頂き、最高の環境で競馬観戦をすることが出来ました。参加者を代表して御礼申し上げます。兼丸会長は、北里大学獣医学部を卒業後、JRA 日本中央競馬会に就職され学識、行動力、人望厚く、定年退職の時点で「JRA 総合研究所所長」を務められました。我々同窓生の誇りです。

11月12日(土)午前8時30分に済生会宇都宮病院駐車場をチャーターバスで出発しました。前日の寒い雨から一転した快晴の朝で、日光連山の山頂は雪がかぶり絶好の行楽日和でした。宇都宮ICから高速道路で西那須野ICまで行き、畜産酪農研究所駐車場に参加者全員30名が合流してツアーバスが出発しました。車内では各自自己紹介の後、兼丸会長の挨拶とJRAの概要説明や日本の馬の現状説明があり、参加者の興味深い馬券の買い方を実際の馬券と鉛筆までも用意頂き、初心者でも分かりやすく教えて頂きました。ありがとうございます。安達太良S.Aで休憩し、福島西ICで高速道路を降り11時30分に予定どおり福島競馬場に到着しました。兼丸会長から「2016年全国共通招待券」を全員頂き無料で競馬場に入場させて頂きました。持つべきは立派な先輩です。隠しエレベーターの様な所から最上階の「来賓室」に入れて頂きました。馬場のラチ(埒:柵のことx)沿いの地面からの景色とは違い、競馬場全景をエアコン付きの部屋で見られるのは、馬主さん以外にはない状況だと思います。馬場の芝生は、一昔前では秋になると茶色く枯れていましたが芝生の品種改良により一年中緑で根っこも強い世界一の芝生になりました。痛んだ洋芝を補修するいわゆる「モグラ叩き」もほとんど必要としません。美しいです。もちろんテレビ中継は、福島競馬場以外の全国JRAの競馬場を放映しており、自動券売機は同フロアーにあり、食事、飲み物もルームサービスしてくれて、至れり尽くせりでした。しばし上流社会の人となった気分でした。

参加者の皆さんはそれぞれ、馬の状態を見て馬券を買う人、オッズを見て一攫千金を狙う人、「来賓室」は熱気に溢れ皆さんの目は、ランランと輝いて楽しい時間でした。私は、馬主になった気分、パドックで馬を見定め自分の馬が走るつもりで「単勝」専門で本来の純粋な馬券を買いレース中一頭の馬だけを見続けて応援して興奮しましたが、全レースを通じて四着

止まりで残念ながら馬券は当たりませんでした。馬主さんの気持ちがわずかですが理解できたと思います。

「パドック」「来賓室」「テラス」「ゴール番前」と観戦場所を変えて夫婦でとても楽しい時間でした。今回は家族も連れてこようと話しました。参加された皆さんも表情からして同じ感想だと思います。皆さん来年も兼丸会長にお世話になり「福島競馬場観戦ツアー」に参加しましょう。但し、服装、飲食物は主催者の指示通りをお願いします。誰でもが入れる所ではない「来賓室」ですから。帰りは16時に福島競馬場を出発し、安達太良S.Aで休憩の後、畜産酪農研究所駐車場で半数の方とお別れして19時30分に済生会宇都宮病院駐車場に無事到着して、ツアーバスは解散となりました。

最後に今回のツアーを企画、催行して下さった兼丸卓美会長、齊籐けさよ幹事に深甚な感謝を申し上げます。ありがとうございました。

リトルマーメイドを鑑賞して

福田容子

11月12日土曜日、滝支部長の代わりに山内さんと、北里大学同窓会五十周年記念事業として初めて行われた劇団四季のミュージカル「リトルマーメイド」の観劇に行ってきました。

お席は1階11列という最高のお席で、同窓会の幹部の方々に近いお席でした。

公演前には、栃木県支部の講演会などにいらして下さった同窓会の鈴木副会長さんや東理事さんにご挨拶でき、一緒にお写真も撮りました。鈴木先生からは、「栃木からは何人来てるの？」と質問され、「今回栃木県支部のイベント“福島競馬場観戦ツアー”と重なってしまい二人だけの参加になってしまいました。とても残念です。」とお伝えしました。



(会場入り口で全学同窓会の鈴木副会長、東理事と)

会場では、偶然同窓生の奥様との嬉しい再会もありました。また、この三月に卒業した息子のママ友五人ともお会いしました。

他大学卒業の娘もお友達と参加したのですが、大学の友達と再会したり、世間の狭さを感じました。

いよいよ素敵な音楽が流れ開演です。

開演後直ぐに人魚のアリエルの澄んだきれいな声に魅了されました。海の魔女アースラーのまるで生きているかのようなすばらしい足の動きに「凄い！」と感動。ウミヘビの人の体をくねくねしながらもきれいな声で歌うテクニックもすばらしい。そして、四季の俳優さんの歌、演技は勿論ですが、舞台の細かいところまで本物を目指しているところに“さすが四季！”と思いました。終始流れる音楽にも感動！さすが映画音楽で天才作曲家といわれるアラン・メンケン。リトルマーメイドが新次元のミュージカルと言われる意味がよくわかりました。久しぶりに感動に涙しながらの夢の三時間でした。

魔法にかかってしまったように、「これからはちょくちょく行きたい」と思いました。本当に素晴らしい機会をお作ってくださり、ありがとうございました。次回も是非企画して欲しいです。

他大学の方からも「さすが北里大学だね。うちの大学なんてこんな企画ないよ。」と言われました。北里大学同窓会に感謝です。

リトルマーメイドを鑑賞して

山内久恵

先日、11月12日全学同窓会創立50周年記念事業ということで劇団四季のリトルマーメイドのミュージカルを観劇してきました。

リトルマーメイドは、アニメーションや本では馴染みのある物語ではありましたが、ミュージカルでの観劇は初めてでした。



(会場入り口で)

劇場全体を使ったスケールの大きい表現、人魚姫アリエルが、人間の王子エリックに恋をして一。ミュージカルでは、このアニメーションのストーリーを踏まえながらキャラクターの造型や心情描写、各々の場面を丁寧に、そしてまるで本当の海底で泳いでいるように見える魚たちの動きを迫力ある音楽と美しい歌声

で表現され、とても感動し楽しい時間を過ごすことができました。

また毎日忙しい日々を過ごしておりますが、日常を忘れさせてくれるこのような素晴らしいミュージカル鑑賞を北里大学創立50周年記念事業ということで、北里大学に関係される皆様と共有できましたこととてもうれしく思います。

同窓生として北里大学が生命科学に特化した大学として更に発展しなすこと願っております。

「仏教と医療」～今を生きる～ 倉松俊弘住職のご講演を聞いて考える

28・8・15 福澤 英子

元来人は、生きることの苦しみから逃れるために宗教を求め、祈ることで、心も身体も癒してきたのだと思う。宗教と医療を分けて考えるようになったのは、近代になってからで、生命を細分化し分子生物学的な生命感で『命』を説明し、病も老いも解明出来ると信じてきていたのだ。私自身50年前、DNAの秘密を知った(と思った)とき不思議な高揚感を持ったものだ。しかし今、生命は、生物は、そんな単純なものではないと知っている。

倉松先生はおっしゃる。科学(医療)は、物を細かく狭く、細部を見て本質を知ろうとする。そして、説明する。仏教は見えない心や精神を、大きく広く深く捉えて悟りを開く(ありのままに受け入れる)という生き方である。医療も仏教も人の『いのち』を一番大切と思い、人の幸せを願っての行為なのだ、と。

医療の発展は身体の痛みを和らげ、病や老いの不安から開放してくれ、死の恐怖を希望に変えてくれた。医療者として現場にいらした先生は、命に向き合い、命を救えることに誇りと喜びを感じていらしたことだろう。

でも思う、「生きる」意味は？ 答えは仏教の教えの中にあっただけでしょうか。

現代の科学が明らかにしたいと英知を傾ける「生」「老」「病」「死」は2,500年前の経典の中に説かれている。と、教えてくれた人がいた。

仏教は、「生きる意味」と「幸せに生きる」ヒントを教えてくれる。それは『いのち』は自分に与えられた限られた時間なのだ。限られた時間を受け入れ、自分の時間を他者のために使ってあげること(布施)。「因縁生起」という考え方に共感を覚えた。死を受け入れる大切な時間があるということも知っておきたい大切なことだと思った。

一方、災害で、事故で、事件で偶然そこに居合わせてしまい命をなくす人がいる。明日の自分かもしれない、家族かもしれない。だからこそ「今生きている」ことは、意味があり、「生かされている」ことを見つ

めることは大切なことなのだ。見つめることは、じぶんの心を知ることなのだ。と、先生はおっしゃる。

まさに、北里大学という絆に支えられていることを幸せに思えた講演でした。倉松先生には心から感謝したい。ありがとうございました。

最後に薬王院の美しい蓮の花の写真に魅せられた。蕾はゆっくり開き、まばゆい花をひと時見せて、花の中に種を潜め地に帰っていく。美しい生だと思った。

今回、滝支部長に講演の感想文を求められていたのに私の勘違いで前号に原稿が間に合わず、皆様にご迷惑をおかけしてしまったこと、深くお詫び申し上げます。

大村智先生のノーベル医学生理学賞受賞に寄せて 大村先生の教え子(優秀なKちゃん)～その3～

PP14166 磯 恵美子

大村先生のノーベル医学生理学賞受賞から、早1年。なかなか、第三弾を書けずにいた私です。

写真は、御主人の仕事の関係で、韓国に住んでいるKちゃんを皆で訪ねて、食べて飲んでおしゃべりして楽しかった女子会の様子です。

今回はKちゃんとの出会いについて。

私は中学生の時から「薬剤師」を希望していたのだが、家がそれほど裕福ではなかったので国立大学薬学部を受験したけれど、力及ばず…。当時国立大学は一期校、二期校の時代で、あいにく二期校に薬学部がない時代。一期校を落ちてしまったので、私は当然、地元宇都宮大学教育学部に行き、その後「英語の教師」になるつもりでいた。

薬学部…理系。英語教師…文系。

ん？少し変？である。そう、薬剤師となった私は「リケジョ」のはずだが、高校時代、私の得意科目は英語、現代国語、日本史、物理…。苦手科目は数学、化学…。こりゃ、全くの私立文系ではありませんか。薬学部に行くには、国立大。文系科目で点を稼ぐしかない、状況です。

もうちょっと計画的に勉強をしていれば苦勞することもなく国立大学に受かって薬学部に行けたのに残念…。

そして、二期校受験に気持ちを切り替えていた時、父が言った。

「私立(北里大学)だけど、薬学部が受かっているのだから、薬学部に行って薬剤師になりなさい。二期校は受けなくて良い。」

えっ！何ですと！入学金も授業料もものすごく高いのに、出してもらえるの？私立大学に行っているの？

兄はしっかりと国立大学に行ったのに私だけ…。

いろいろ悩んだ挙げ句、夢は諦めきれず、遠慮無く北里大学に行かせてもらうことにした。

そして、二期校の受験は「そうだよね。私が受けて合格しちゃったら、不合格になって泣く人が1人出来ちゃうから、私、二期校受験止めるね！」

ついさっきまで不合格でメソメソしていたのに…私は一転して「薬学部合格者」になってしまったのだ～(^_^)v♪ (なんと調子がいいんでしょう。)

そんな訳で両親と兄にはいくら感謝しても感謝しきれない。そして一生頭が上がらない。

そして、入学する予定でなかったのに、しかも「薬学部は1年間だけ相模原校舎」だと知らなかったから大変だった。アパートなど探す余裕もなく、平塚に住む伯母(父の姉)の家に居候させてもらって入学式を迎えた。

入学式当日。私は1人で出席した。クラスごとの席だったのか?偶然、Kちゃんの隣の空いた席に座った。その時は自己紹介をしたくらいだったように思う。

そして次の日、相模大野駅からのバスに乗って大学前で降りた私は前を歩くKちゃんを発見。

Kちゃんの名前はH川さん。

それなのに私は大きな声で「H中さ～ん!H中さ～ん!」と呼び続けた。

どーしてちっとも振り返ってくれないのかな?

やっと追いついて「H中さん、おはよう！」

Kちゃん「私、H川です…。」

…やっちゃまった～。そりゃあいくら呼んでも振り向かない訳だよな。



それ以来、ずーっと、こんなおっちょこちよいで天然(?)な私を面倒見てくれ、仲良くしてくれる本当にありがたい、そして大切なKちゃんである。

学生時代はずっと「おやびん!(親分)」と呼ばれていた、優秀で頼りになるKちゃんである。

大村先生の教え子として取材があった時も、Kちゃんはしっかりと大村先生の講義や実習を覚えていて「さすが、おやびん!」と思った。韓国までメールしてKちゃんに聞けば良かったなあ…と思った。

大村先生もきっとKちゃんのこと覚えているん

だろうなあ、と思います。



そのKちゃんは来年3月で、韓国の家を引き払って帰国する予定。

韓国ツアーはなくなるけど、これからも国内で女子会しましょうね。

卵を食べる時、思い出してください……!

岸善明

昨年、「日本一美味しい卵をつくる」を目的に養鶏を始めた友人がおります。その関係で「鶏の健康を守り食品として安全な卵の生産」を支援する目的で獣医師として鶏と関わることとなりました。仕事を始めるにあたり鶏について調べてみました。

鶏は東南アジアに生息するセキシヨクヤケイを起源として紀元前8,000年ごろ家畜化されました。その後、インド、メソポタミヤ、エジプト、中国を経由して広がりました。日本には中国から弥生時代に伝来したようです。

鶏の用途は家畜化後長く食用としては重視されず、卵と肉はあくまでも副産物で、主な用途は愛玩用、闘鶏用、祭祀用等が中心でした。日本でも同様に、古くから飼育されているチャボ、尾長鶏、声良鶏等は食用ではありません。この状態が長く続きましたが19世紀に入り欧米で卵用種と肉用種の改良がすすみ、現在の養鶏産業ができあがりました。この結果、卵と鶏肉が安価で身近な食品となりました。養鶏産業を支える科学技術として獣医学があります。

日本には約5,000ヶ所の養鶏場があり、欧米で改良された卵用種13,500万羽、肉用種16,000万羽が飼育されています(世界で8番目の養鶏国)。養鶏場における病気の対応はワクチンによる予防が中心です。

皆様が卵を食べる時、どうぞ味わって食べて下さい。

編集後記: この冬はヒトばかりではなくトリのインフルエンザも大流行の兆しです。ヒトはワクチンがありますが鳥などの動物にはワクチンは接種しない(作られていない)のですね。書物によるとホモサピエンスは地球上の動物を滅びさせた残酷な動物ですね。(滝 龍雄)